

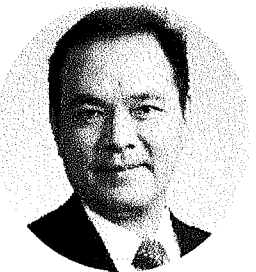
日本共産党深谷市議団 議会報告

No.10

2013年8月
発行
日本共産党
深谷市議団



清水おさむ
048-583-4726



清水むつみ
048-574-3986

六月議会について

平成二十五年深谷市議会第二回定例会が六月三日から二十一日の日程で開催され、市長提出議案九件、議員提出議案三件、請願三件などが審議されました。請願については、医療生協深谷岡部支部より提出された「国に対して埼玉県立大学に医学部の新設を求める請願」と、埼玉土建深谷寄居支部より提出された「建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願」が賛成多数で採択され、国に対して意見書を提出しました

が、年金者組合深谷支部より提出された「年金2・5%の削減中止を求める請願」は、賛成少数で不採択になってしまいました。

また、六月議会では議長選挙と委員会構成が行われ、議長に柴崎重雄氏、副議長に馬場茂氏がそれぞれ選任されました。委員会構成では、清水むつみ議員が福祉文教委員会委員長(大里広城市町村圏組合議会議員にも選任)、清水おさむ議員は総務委員会副委員長と議会運営委員会委員にそれぞれ選任されました。

一般質問 清水おさむ議員

**Q 選挙公約である給食費の負担軽減を
A 7年間値上げせずに現状を維持している**

問 学校給食の無料化に向けた給食費の負担軽減は、市長の4年間で行う選挙公約であり、その実行を。

答 給食費については、7年間値上げせずに現状を維持している。負担軽減は困難であるが、充実した給食を提供していく。

見解 「値上げしないで現状を維持している」ということですが、そういう状況を承知の上で敢えて、無料化に向けた給食費の負担軽減を公約に掲げたのであり、公約の重みを理解しているとは言い難い答弁です。

事業費補助の基準を見直し 補助金の交付を

問 畠山重忠公史跡保存会が中心になって行っている「重忠まつり」や重忠太鼓保存会が毎年、重忠公園で行っている「新春初打奉納」などは、どちらも社会的な大きな仕事であり、いわゆる広辞苑で言っている「事業」である。このような団体の社会的活動に公益性が認められる場合に、その活動に対して補助金を交付すべきではないか。

答 平成二十二年度の補助金見直し方針に基づき見直した結果、より公平で時代に即した見直しができたと考えている。

見解 平成二十二年度の補助金見直し方針は、事業費の見方を矮小化しているところに最大の問題があり、方針を撤回し、市民の切実な声に耳を傾けるべきです。

一般質問 清水むつみ議員

**Q 人間ドック助成事業の一人当たりの助成額を増やせないか
A 助成枠を増やし対応している**

問 国保の人間ドックの一人あたりの助成額は、17500円と熊谷市の3万円、本庄市の2万円とくらべて低く推移したままである。一人あたりの助成額を増やせないか。

答 多くの被保険者が利用でき希望する方が全員受検できるように平成23年度から助成枠を増やし対応している。

技能労働者への適切な賃金水準の 確保について

問 4月1日以降の契約においては、国の平成25年度公共工事設計労務単価を適用しているのか。また国の「技能労働者への適切な賃金水準の確保に係る要請」に応え、必要な対策を早急に講じるべきではないか。

答 国からの要請は「平成25年度公共工事設計労務単価の早期適用」「ダンピング受注の防止」「法定福利費の適切な支払と社会保険等への加入徹底にかんする指導」「労務費の急激な変動」の4点である。いずれも必要な措置を講じている。

文化財の活用について

問 職人芸的な技術を文化財としてとらえ、その記録作成ができないか。

答 現在行っている無形民俗文化財の記録保存を行いなから職人芸的な技術の調査・研究をしていく。